

ELxxR2 設定手順書

FW Version.1.1.17

2023/5/26作成

テクノホライゾン株式会社
ELMOジャパン事業本部

はじめに

本手順書はELxxR2、FW Version 1.1.17の設定手順書です。

※FW Version 1.1.17 は、2023/5/26時点において、最新バージョンとなります。

設置時に実施する主な作業工程を掲載しております。
各種設定内容、設定手順において、ご不明点ありましたら、併せて、取扱説明書もご確認ください。
また、下記窓口にお問合せください。

エルモ xSync(バイシンク) ヘルプデスク

メール: xsync-help@elmo.jp

電話: 0570-077-277

受付対応時間: 営業日 9 時~18 時(受付のみ 24 時間対応)

作業項目

No	作業項目	実施条件	ページ
1	事前準備（現場訪問前）	必須	4
2	初回起動、初期設定	必須	6
3	Admin Setting（管理者設定）	必須	8
4	日時と時刻の設定	日時を手動で設定する場合	9
5	ネットワークの設定（無線LAN）	ネットワーク接続する場合	10
6	ネットワークの設定（詳細、他）	無線の基本設定以外を行う場合	11
7	FWバージョンの確認	必須	18
8	FWバージョンの更新	FWバージョンが最新でない場合	19
9	アプリケーションの更新	必須	23
10	【ELMO Note】の設定	必須	25
11	【カメラロール】の設定	必須	26
12	【ELMOカメラ】の設定	必須	27
13	【Avira Security】の設定	必須	29
14	Transcreenの自動起動設定	Transcreenを推奨する場合	33

1.事前準備（現場訪問前）

[1/2]

ELxxR2を設置するにあたり、下記の事前準備をお願いいたします。

●設定値

- ・ネットワーク設定
- ・設定画面保護用のパスワードなど。

※ご利用者様より、ご指定があれば、事前にご用意ください。

※ご指定がない場合はデフォルト設定でのご納品となります。

●ELxxR2アップデート用ファームウェア

●ELxxR2用アプリケーション（apk）

※設置時、インターネット接続、大容量のデータダウンロードができる環境の場合は、ネットワークアップデートが可能のため、下記の準備は不要です。

こちらから適切なサイズのデータをダウンロード。

ファイル名称をzip形式のまま『**mt9950_cn-ota_update.zip**』に変更、USBメモリ（FAT32）ルートディレクトリ直下に配置します。

インチ	ファイル名	
55インチ	KSDA23040540_V1.1.17_55_mt9950_cn-ota_update.zip	DL
65インチ	KSDA23040038_V1.1.17_65_mt9950_cn-ota_update.zip	DL
75インチ	KSDA23040543_V1.1.17_75_mt9950_cn-ota_update.zip	DL
86インチ	KSDA23040547_V1.1.17_86_mt9950_cn-ota_update.zip	DL

1.事前準備（現場訪問前） [2/2]

ELxxR2を設置するにあたり、下記の事前準備をお願いいたします。

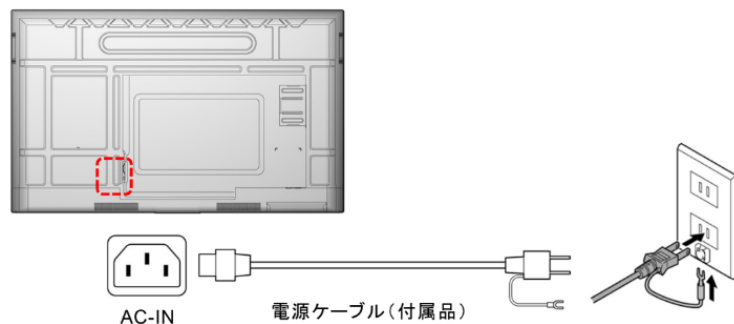
●その他、注意事項

- ・FWバージョンを過去のバージョンに揃えたいなど、バージョンダウンを行う手法は本手順書では案内しておりません。
- ・WIFI証明書の適用方法については、本手順書では案内しておりません。

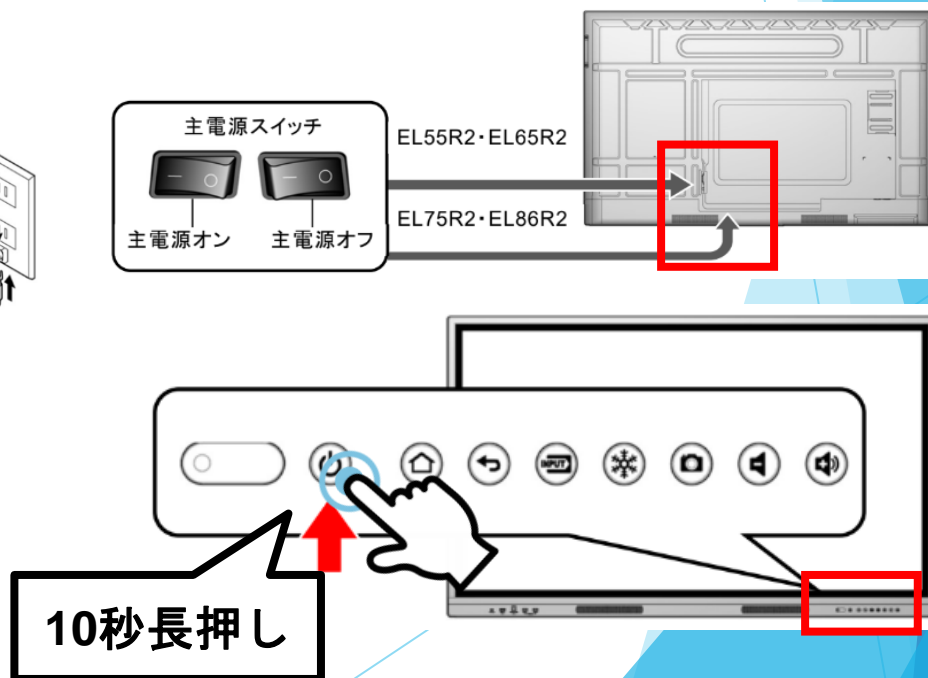
2.初回起動、初期設定 [1/2]

- 1.電源ケーブルを接続後、電源プラグをコンセントに差し込みます。
- 2.本機背面にある、主電源のスイッチをON側にしてから、本体前面にある電源ボタンを長押しします。

【電源プラグをコンセントへ接続】



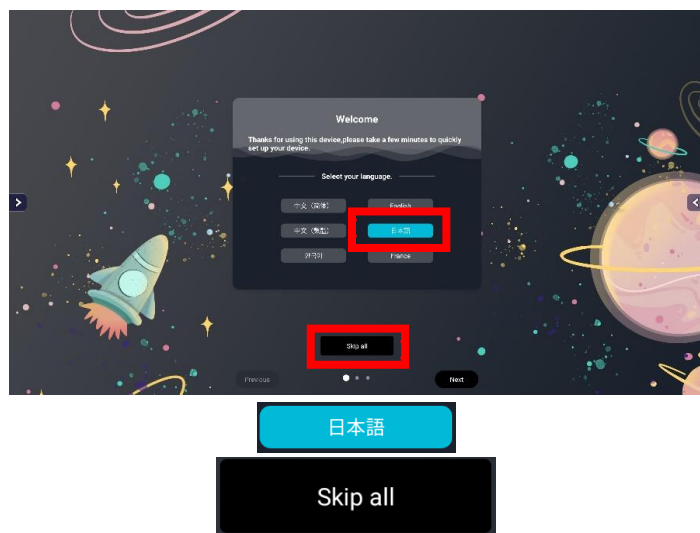
【主電源ONと電源ボタンを長押し】



2.初回起動、初期設定 [2/2]

3. 『**Select your language (言語の選択)**』 初期設定画面が表示されます。
4. 『**日本語**』を押下します。
※画面暗転後に言語の表記が切り替わります。
- 5.画面中央下の『**Skip all(全てスキップ)**』を押下します。
- 6.ホーム画面が表示されます。

【初期設定（言語の選択）画面】



【ホーム画面】



3.Admin Setting（管理者設定）

[1/1]

※日時と時刻の設定、ネットワークの設定をどれも実施しない場合は
《 7.FWバージョンの確認 》まで読み飛ばしてください。

- 1.アプリー覧から『設定』アプリを起動します。
- 2.『Admin Setting』から管理者パスワード（デフォルト:0000000）を入力し
ロックを解除します。
- 3.アプリー覧から再度『設定』アプリを起動します。

【『設定』アプリの起動】



【管理者用パスワード入力画面】



4.日付と時刻の設定 [1/1]

※日時と時刻の設定を実施しない場合は《 5.ネットワークの設定（無線接続） 》まで読み飛ばしてください。

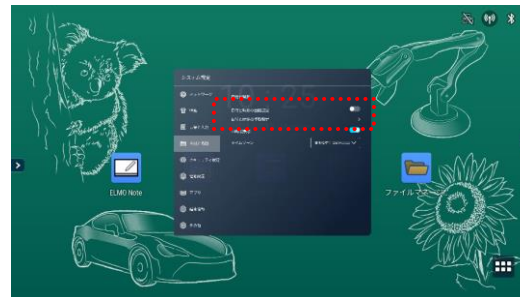
※本手順はインターネットに接続されていない環境下での作業となります。
インターネットに接続されている環境では、日時と時刻は自動的に設定されます。

- 1.設定画面メニューにある『**日付と時刻**』を押下します（参照図.A）。
※表示がない場合《 3.Admin Setting（管理者設定） 》 1.からやり直します。
- 2.『日付と時刻』画面が表示後『**日付と時刻の自動設定**』の**スライドスイッチをオフ**にして『**日付と時刻の手動設定**』を押下します（参照図.B）。
- 3.『日付と時刻の手動設定』の画面が表示後、日付（年/月/日）と時刻（時/分）をそれぞれ上下にスクロールし日付と時刻を設定します（参照図.C）。
- 4.『**OK**』を押下して『日付と時刻の手動設定』画面の表示が折り畳まれます。

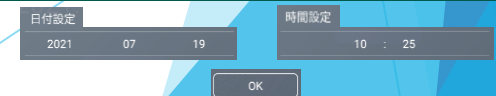
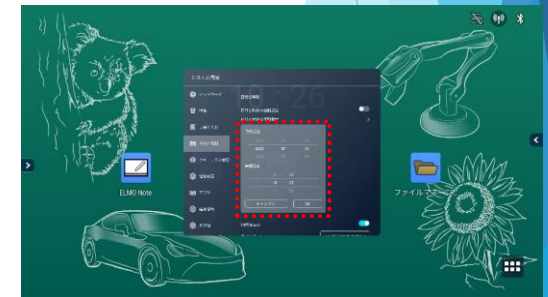
【日付と時刻（図.A）】



【手動設定へ切り替え（図.B）】



【日付と時刻の編集画面（図.C）】




5.ネットワークの設定（無線LAN） [1/1]

※設定作業時点、ネットワーク環境が整備されていない場合、《 7.FWバージョンの確認 》まで読み飛ばしてください。

※なお、ご利用のネットワークが本項目記載の無線LAN設定以外を必要とする場合は、《 6.ネットワークの設定（詳細、他） 》も併せてご確認ください。

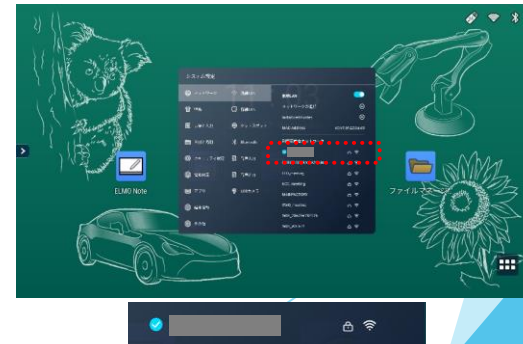
◆ご利用のネットワーク環境が無線LANの場合

- 1.設定画面メニューにある『ネットワーク』『無線LAN』を押下します。
※表示がない場合《 3.Admin Setting（管理者設定） 》 1.からやり直します。
- 2.『無線LAN』のスライドスイッチを**オン**にします。
- 3.『利用可能なネットワーク』の中から、接続先の**SSIDを選択**します。
- 4.『パスワード』画面が表示されますので、指定された『パスワード』を入力します。
- 5.正常に接続されるとネットワーク名の左側に『チェックマーク 』が表示されます。

【無線LAN接続画面】



【ネットワークのパスワード入力画面】



6.ネットワークの設定（詳細、他） [1/7]

※設定作業時点、ネットワーク環境が整備されていない場合、《 7.FWバージョンの確認 》まで読み飛ばしてください。

ご利用のネットワークが《 5.ネットワークの設定（無線LAN） 》 以外の下記の設定作業を必要とする場合は、本章をご確認ください。

- ◆無線：プロキシ設定
- ◆無線：固定IP設定
- ◆ステルスSSID設定
- ◆有線LAN接続

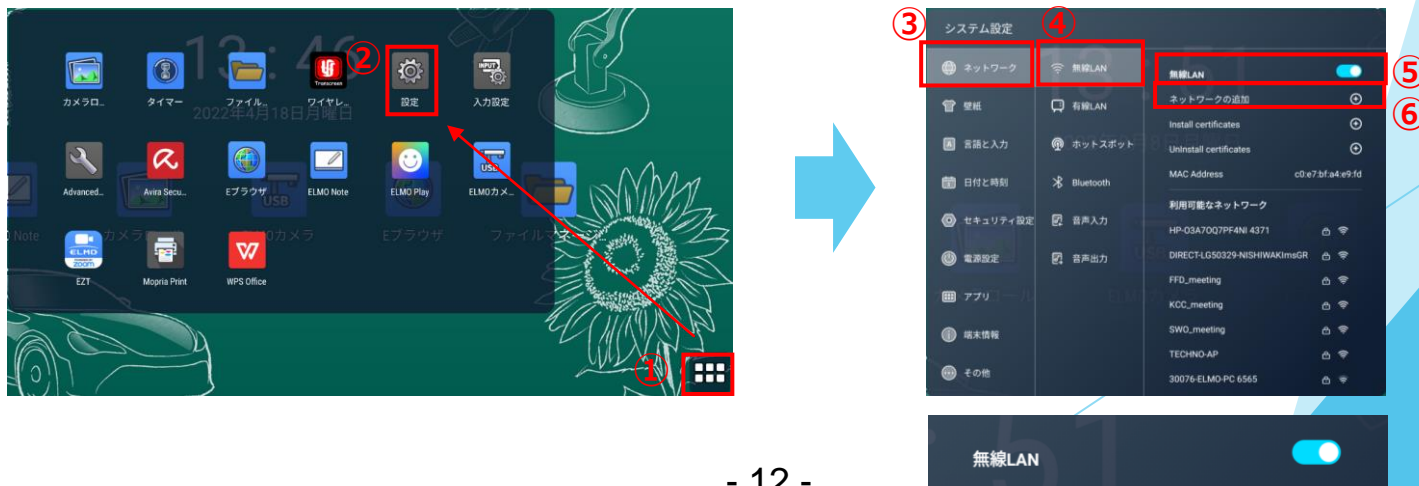
6. ネットワークの設定（詳細、他） [2/7]

※設定作業時点、ネットワーク環境が整備されていない場合、《 7.FWバージョンの確認 》まで読み飛ばしてください。

◆プロキシ、固定IP、ステルスSSIDを設定する場合

1. 設定画面メニューにある『ネットワーク』『無線LAN』を押下します。
※表示がない場合《 3.Admin Setting（管理者設定） 》 1. からやり直します。
2. 『無線LAN』のスライドスイッチを**オン**にします。
3. 『ネットワーク』から、『無線LAN』⇒『ネットワークの追加』を選択します。

【設定画面から無線LAN画面の遷移のやり方】



6. ネットワークの設定（詳細、他） [3/7]

4. 『Wi-Fiの使用』 画面が表示されます。
『Wi-Fiの使用』 スライドスイッチがオフになっている場合、『**Wi-Fiの使用**』を**オン**にして項目を有効にします。
5. 利用可能なネットワーク一覧が表示後、一覧画面を一番下までスクロールします。
その後、『**ネットワークを追加**』を選択します。

Wi-Fiの使用画面がオフの場合



Wi-Fiの使用画面がオンの場合



6. ネットワークの設定（詳細、他） [4/7]

6. 『詳細設定』を選択して畳まれている項目を展開します。

7. 接続先の各設定項目を選択・入力します。

【『詳細設定』選択画面】

ネットワークを追加

ネットワーク名

SSIDを入力します

セキュリティ

なし

詳細設定

キャンセル 保存

This screenshot shows the 'Add Network' screen. The 'Detailed Settings' option is highlighted with a red box. The screen includes fields for network name, SSID, and security type, and buttons for cancel and save.

【ネットワーク追加画面】

ネットワークを追加

ネットワーク名

SSIDを入力します

セキュリティ

なし

詳細設定

- 従量制
- 自動的に検出
- プロキシ
- なし
- IP設定
- DHCP

キャンセル 保存

This screenshot shows the 'Add Network' screen with the 'Detailed Settings' menu expanded. The expanded menu is highlighted with a red box. The menu items are: 従量制, 自動的に検出, プロキシ, なし, IP設定, and DHCP. The screen also includes fields for network name, SSID, and security type, and buttons for cancel and save.

6. ネットワークの設定（詳細、他） [5/7]

8. プロキシの設定をする場合、『**プロキシ**』を押下し、『**手動**』もしくは『**プロキシの自動設定**』を選択します。
※初期値『なし』
9. 固定IPの設定をする場合、『**IP設定**』を押下し『**静的**』を選択して各種入力項目にIPアドレス情報を入力してください。
※初期値『DHCP』
10. ステルスのアクセスポイントへ接続する場合、『**非公開ネットワーク**』を押下し『**はい**』を選択します。
※初期値『いいえ』

【プロキシの設定】

ネットワークを追加
セキュリティ
なし
詳細設定
従量制
自動的に検出
プロキシ
なし
手動
プロキシの自動設定
非公開ネットワーク
いいえ

キャンセル 保存

【固定IPの設定】

ネットワークを追加
IP設定
DHCP
静的
192.168.1.1
ネットワークプレフィックス長
24
DNS 1
8.8.8.8
DNS 2
8.8.4.4

キャンセル 保存

【非公開ネットワークの設定】

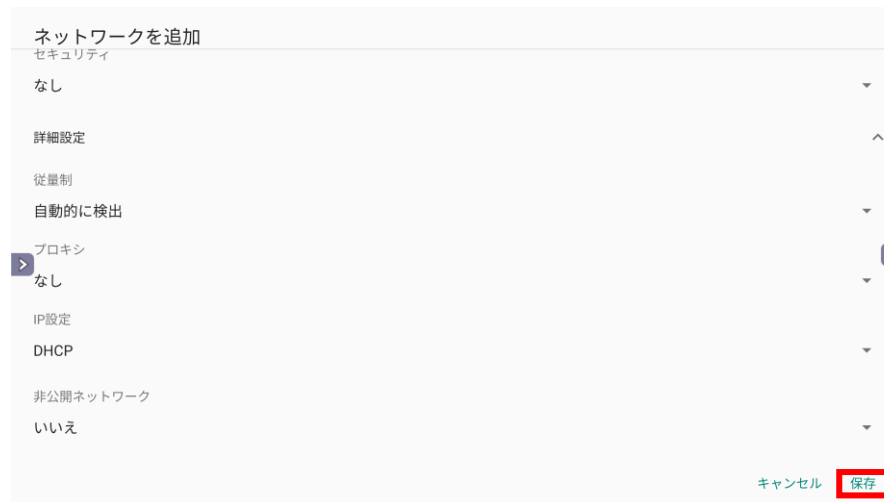
ネットワークを追加
セキュリティ
なし
詳細設定
従量制
自動的に検出
プロキシ
なし
IP設定
DHCP
非公開ネットワーク
いいえ
はい

キャンセル 保存

6.ネットワークの設定（詳細、他） [6/7]

11. 設定項目の入力が完了したら『**保存**』を選択し設定を確定させます。
※入力内容に不備がある場合、『保存』のハイライトが灰色のまま選択できません。

【設定完了（保存）画面】

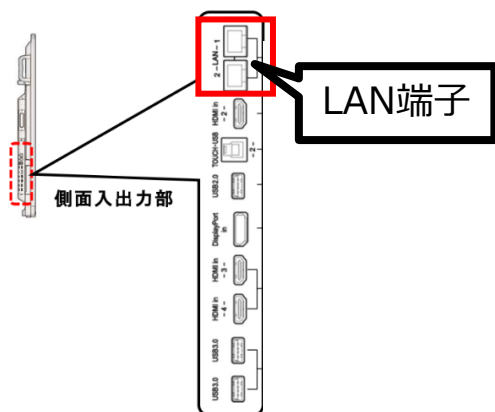


6.ネットワークの設定（詳細、他） [7/7]

◆ご利用のネットワーク環境が有線LANの場合

- 1.本機側面にあるLAN端子に対応するネットワークケーブルを接続します。
- 2.設定画面メニューにある『ネットワーク』『有線LAN』を押下します。
※表示がない場合《 3.Admin Setting（管理者設定）》 1.からやり直します。
- 3.『有線LAN』のスライドスイッチを**オン**にします。
※『有線LAN』のスライドスイッチをオンにすると、
自動的に『無線LAN』のスイッチはオフされますので、ご注意ください。
- 4.IPアドレス欄にIPが表示されましたら、設定完了です。
固定IP、その他設定事項がありましたら、
項目に設定値を入力後、『OK』で設定を確定させてください。

【LAN端子接続】



【有線LANをオン】



【固定IPを入力】



7.FWバージョンの確認 [1/1]

- 1.ホーム画面から設定メニューを起動し、『端末情報』を押下します（下図参照）。
- 2.『システムバージョン』の項目より、FWバージョンを確認してください。

※最新の場合、FWの更新は不要です。《 9.アプリケーション更新 》まで読み飛ばしてください。

5/25時点の最新バージョン	1.1.17
----------------	--------

- 3.FWのバージョンが最新でない場合、FWの更新作業が必要です。
《 8.FWバージョンの更新 》をご確認ください。

【FWバージョン確認方法】



8.FWバージョンの更新 [1/4]

※本工程は、FWバージョンが最新でない場合に実施します。
FWバージョンの確認方法は前章の《 7.FWバージョンの確認 》をご確認ください。

1. ホーム画面に移動して、アプリ一覧から『設定』アプリを起動します。
2. 『Admin Setting』 から管理者パスワードを入力していない場合、
管理者パスワード（デフォルト:0000000）を入力し、ロックを解除します。
- 3.アプリ一覧から再度『設定』アプリを起動し、『端末情報』から『アップデート』を選択します。

【設定画面からアップデート画面の遷移のやり方】



8.FWバージョンの更新 [2/4]

4. 事前に、USBメモリにアップデート用のFWを準備している場合、
サイドのUSBポートにUSBメモリを挿入します。
USBメモリを挿入後、『システムローカルアップグレード』を押下します。

また、USBメモリの準備がない場合、インターネットに接続できる環境にあれば、
『システムネットワークアップグレード』を押下します。

- 5.FWのアップデートが始まります。
アップデート状況はプログレスバーで表示されます。
※バックグラウンドでもアップデートは進行します。

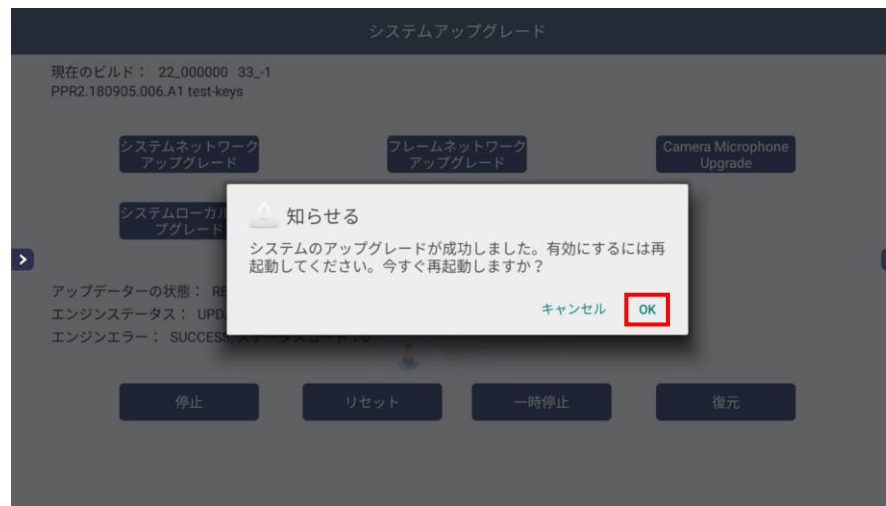
【システムアップグレード画面】



8.FWバージョンの更新 [3/4]

- 6.アップデートが適用されると再起動を確認するポップアップウィンドウが表示されます。
7. **USBメモリをUSBポートから必ず取り外し**、『OK』を選択し再起動を実施します。
※USBメモリを取り外さずOKを選択した場合、アップデート画面でフリーズする場合があります。
※フリーズした場合は、主電源オフ/オンで復旧します。

【ポップアップウィンドウ画面】



8.FWバージョンの更新 [4/4]

8.電子黒板が複数回再起動し、ホーム画面が表示されたらアップデートは完了します。

【アップデート中の画面遷移】



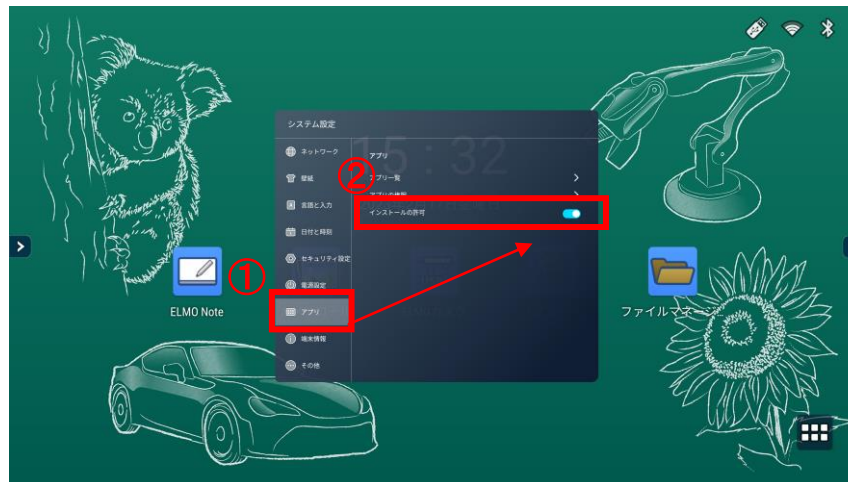
アップデートの時間は
5～10分ほどかかる場合があります。

9.アプリケーション更新 [1/2]

※アプリケーションを更新するにあたり、インストールの許可をおこなってから作業を行います。
また、作業完了後は許可した設定をもとに戻してください。

- 1.設定メニュー画面の『アプリ』を押下します。
- 2.『アプリ』画面が表示後『インストールの許可』のスライドスイッチをオンにします。

【アプリ画面：『インストールの許可』をオン】



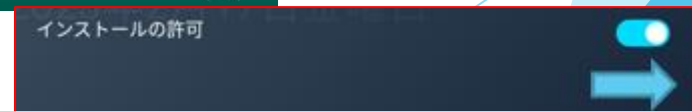
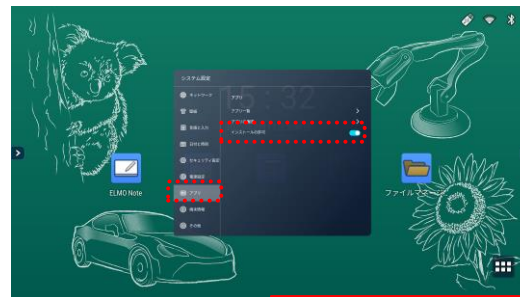
9.アプリケーション更新 [2/2]

3.作業日程に合わせて、アプリケーションの更新作業を実施してください。

作業日程	
2023/7/2以前	アプリケーションの更新は不要です。
2023/7/3以降	EZT（オンライン授業向けアプリケーション）の更新を行ってください。 手順は こちら

4.設定メニューの『アプリ』画面が表示後『インストールの許可』のスライドスイッチを**オフ**にします。

【アプリ画面：『インストールの許可』をオフ】



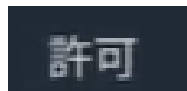
10. 【ELMO Note】設定 [1/1]

- 1.ホーム画面の『ELMO Note』を押下します。
- 2.アクセス許可のポップアップ画面が表示後『許可』を押下します。
- 3.『ELMO Note』初期画面が表示されます。
- 4.電子黒板前面のホームボタン \odot を押下します。
- 5.ホーム画面が表示されます。

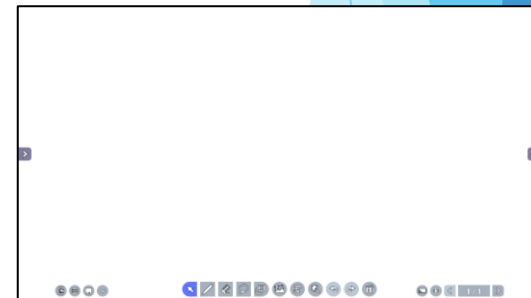
【ホーム画面：ELMO Noteを選択】




【アクセス許可画面】



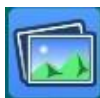
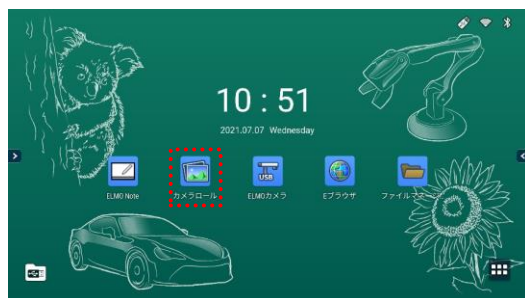
【ELMO Note初期画面】



11. 【カメラロール】 設定 [1/1]

1. 『カメラロール』を押下します。
2. 『ストレージ権限 アクセス許可』 ポップアップ画面が表示後『許可』を押下します。
3. 『カメラロール』画面が表示されます。
4. 電子黒板前面の**ホームボタン**  を押下します。
5. ホーム画面が表示されます。

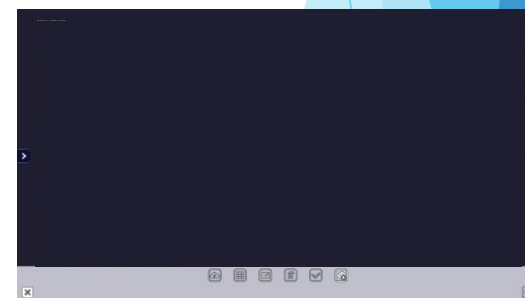
【ホーム画面：カメラロールを選択】



【アクセス許可画面】



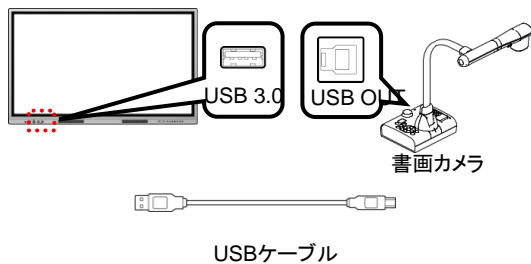
【カメラロール画面】



12. 【ELMOカメラ】 設定 [1/2]

1. 書画カメラをUSBケーブルで接続します（参照図：書画カメラ接続）。
※書画カメラを接続せず実施する場合は《12. 【ELMOカメラ】 設定 [1/2]》1.を飛ばします。
2. ホーム画面の『ELMOカメラ』を押下します。
3. 『ELMOカメラ アクセス許可』 ポップアップ画面が表示されます。
4. 『OK』を押下します。

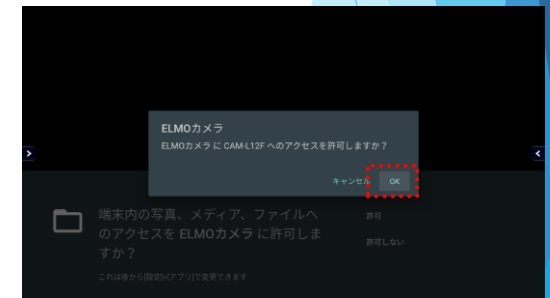
【書画カメラ接続】



【ホーム画面：『ELMOカメラ』を選択】



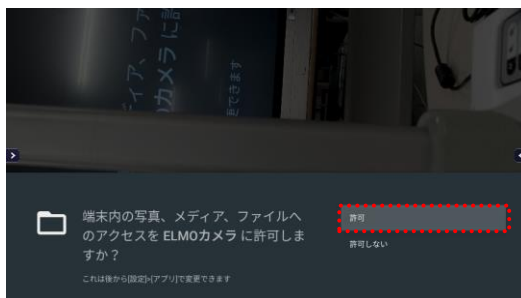
【アクセス許可画面】



12. 【ELMOカメラ】 設定 [2/2]

5. 『ストレージ権限 アクセス許可』 ポップアップ画面が表示後『許可』を押下します。
6. 『ELMOカメラ』が表示されます（参照図：書画カメラ投影画面）。
※接続されていない場合は、「カメラが接続されていません」と表示されます。
7. 電子黒板前面のホームボタン \odot を押下します。
8. ホーム画面が表示されます。

【アクセス許可画面】



許可

【書画カメラ投影画面】



【ホーム画面】



13. 【Avira Security】 設定 [1/4]

1. ホーム画面右下の『**アプリ一覧**』を押下します。
2. 『アプリ一覧』が表示されます。
3. 『**Avira Security**』を押下します。
4. 『Avira Security』 初期画面が表示されます。
5. 『**許可**』を押下します。

【ホーム画面：アプリ一覧を選択】



【アプリ一覧画面】



【Avira Security初期画面】



13. 【Avira Security】 設定 [2/4]

6. 『ダークモードのご紹介』画面が表示後『**閉じる**』を押下します。
7. 『スマートスキャン』画面が表示されます。
8. 『**スマートスキャン**』を押下します。
※『スマートスキャン』の処理には、ネットワークの設定（インターネットへの接続）の実施が必要です。
9. 『ストレージ権限 アクセス許可』ポップアップ画面が表示後『**許可**』を押下します。

【ダークモードの紹介】



閉じる

【スマートスキャン画面】



スマート スキャン

【アクセス許可画面】



許可

13. 【Avira Security】 設定 [3/4]

※ネットワークの設定を実施しない場合は《13. 【Avira Security】 設定 [3/4]》は不要です。

10. 『スマートスキャン』 実行中画面が表示されます。

11. 『スマートスキャン』 完了画面が表示されます。

※ 『スマートスキャン』 後の問題解決は別紙『[Avira Security問題解決方法](#)』 参照してください。

12. 電子黒板前面の**ホームボタン**  を押下します。

13. ホーム画面が表示されます。

【スキャン実行中】



【スキャン完了】



【ホーム画面】



13. 【Avira Security】 設定 [4/4]

※『ネットワークの設定』を実施した場合は《13. 【Avira Security】 設定 [4/4]》は不要です。

14. 『インターネットの接続が必要です』ポップアップ画面が表示されます。

15. 『OK』を押下します。

16. 『スマートスキャン』画面が表示されます。

17. 電子黒板前面の**ホームボタン**  を押下します。

18. ホーム画面が表示されます。

【ポップアップ画面】



OK

【スマートスキャン】



【ホーム画面】



14.Transscreenの自動起動設定 [1/1]

※ミラーリング機能（Transscreen）の仕様変更に伴い、
自動起動するためのアプリケーションから、自動起動の設定を行います。

- 1.ホーム画面のアプリ一覧から、『Autorun WD』アプリを起動します。
- 2.『ワイヤレスキャストを自動起動する』がONであることを確認したら、作業は終了です。

サイドバーの  「戻る」ボタンを操作して、アプリを終了してください。

※なお、『Autorun WD』アプリを起動することで、自動起動の設定を有効化できますので、
本工程は省略しないでください。

【ホーム画面】



【アプリ一覧：『Autorun WD』アプリの起動】

